

おがの 農業委員会だより

小鹿野町農業委員会 小鹿野町小鹿野 89 電話 75-5061



明けまして おめでとうございます



大地と向き合い、命を育む皆さまの姿に敬意を表します。令和8年も豊かな実りと笑顔あふれる一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。



地酒

『両神山』を生んだ田んぼから

小鹿野町で生産された酒米「美山錦」から作られた特別純米酒の「両神山」。リンゴ酸酵母を使ったそのフルーティな味わいを楽しめた方も多いのではないだろうか。

その日本酒の醸造には最低でも約1トンの

酒米が必要だ。「美山

錦」を栽培する茂木延

夫さんは、次のように

語っている。「酒米は

担い手がない。昨年は収穫量が少なかった。両神山も作れないかもしれない。ただ、1回作ってみてとても評判が良かったから、本当はもっと小鹿野町のみなさんに飲んでほしい」

米作りに挑戦してみ

たいという声は少なく

ない。ただ、何から始

めたら良いのか分からない、田んぼを持っていない、機械を持っていない、使い方も分か



モテキノブオ

酒米を栽培している茂木延夫さん

らないという人がほとんどで、自治体や地元経験者からのフオロが必須な状況だ。そんな担い手不足の現状と数少ない生産者の声に添えて、小鹿野町では日本酒づくりに適したお米を生産・販売する農業者に対して生産面積1アールあたり二千百円の補助金を交付するなど、新たな取り組みも始まった。

良い酒米には良い水が欠かせない。そして小鹿野は名水の町である。これからも良いお酒が飲める町であってほしいと願うのは筆者だけではないはずだ。

地域おこし協力隊 芦田央

※茂木延夫さんのインタビュー詳細記事はこちら



かとう こういち
加藤 功一 委員



さかもと ゆういち
坂本 雄一 委員



たかはし かつよ
高橋 克予 委員

農業委員のご紹介

野菜や果樹を栽培して直売所等に出荷しています。天地の恵みに感謝しながら、極上で美味しい物を作りそして、おすそ分けできたらと日々努力しています。

昨年4月から委員になりました。真剣に審議している雰囲気。10年後の農地利用を考えると、若くして夢を持った新規参入者を呼び込む対策に取りくむしかないと思います。

家庭用の野菜を中心に作物を栽培して一部直売所に出荷していますが、作物に必要なときに雨が降らなくて苦労しています。小鹿野町の特性を生かした農業の向上発展を期待しています。

こんな時はぜひ
ご相談ください



いろいろ育ててみたい！

田んぼをやりたい！



**農地を借りたい！
買いたい！
農業をやってみたい！**

野菜を
つくりたい！



農業委員会へ！

農業委員 14 名 推進委員 8 名

相談窓口

小鹿野町役場

産業振興課

電話：75-5061



雑草の管理が大変...

農業する人
誰かいらないかな...



**農地を貸したい！
売りたい！**

果樹園を引き継いで
もらいたいな...

